

NIPPO 星由佳里さん(経理部)



女子個人戦を盛り上げたい

福島・会津出身の星由佳里さんが剣道を始めたのは小学校2年生の時。一つ上の兄と一緒に、放課後に体育館で行われていた練習に参加するようになり、めきめきと実力を付けていった。中学3年の時に県大会で優勝。その会場に来ていた監督の誘いで、女子剣道の名門、山形県立左沢高校に進んだ。

寮を兼ねた監督の自宅から学校に通い、「コンビニにも行けず、テレビを見る暇さえなかった」という剣道漬けの日々。そんな中で、団体戦で行われる選抜大会で優勝、インターハイでも準優勝と輝かしい成績を収めていく。そしてスポーツ推薦枠で埼玉大学に入学。ここでもインカレ優勝など、

実力を遺憾なく発揮した。大学の先輩がいたNIPPOで、一緒に社内女子剣道を盛り上げようと入社。剣道部に所属し、道場を持つ企業のけいこに参加させてもらいながら腕を磨き、実業団や建設業の剣道大会、本社のある東京・中央区の大会などに出場している。毎年秋に行われる建設業剣道大会では、女子個人戦で07年、08年と2連覇。09年、10年は会社の先輩、後輩に譲ったものの、NIPPO女子剣道陣の圧倒的な強さを見せつけ、

昨年の大会では再び栄冠を手にした。企業運動部に所属する自身の活動について「会社の名前を背負う責任感やプライドもある。応援してくれる社員の皆さんのためにも頑張りたい。剣道を通じて少しでも会社の役に立ちたい」と話す。普段の仕事は内勤のため、同業他

責任感とプライド持って挑む

社の人たちと交流する機会は少ない。建設業大会では「試合後の懇親会でほかの会社の方たちと話をすることもできるし、勉強になることも多い」という。女子個人戦をもっと盛り上げていきたいという思いも強く、「出場する人が増えるといいですね」と期待を込める。

今春、会社に新たに女子剣士2人が入社してきた。先輩としての意地を見せながらも、「一緒に切磋琢磨していききたい」と話す。現在は四段。次は五段を目指し、自己鍛錬にも余念がない。



3回目の優勝を果たした昨年11月の大会(右側が星さん)

【建設業剣道大会】

第1回は80年。以後毎年開かれている。大会では5人1組のチームを編成しての団体戦が行われる。昨年11月6日の第32回大会では、例年会場となっている東京芸大体育館に17社22チームが集結。予選を勝ち抜

いた10チームが決勝トーナメントに進み、熱戦の末、伊田テクノスが8連覇を達成した。一方、女子個人戦は、92年にスタート。昨年は7人が出場し、同門対決となった決勝で星さんが社の先輩の吉田育世さんを破り、3回目の優勝を果たした。